



# Mixture

— 芸能の真髄そして進化へ —

若駒だから出来る！

若駒だからこそ観たい！

ジャズドラム と カホン との出会い…  
芸能の さらなる進化への挑戦！！



民族芸能アンサンブル若駒



# Mixture—芸能の真髄そして進化へ—

## 手踊り津軽小原節

東北地方を代表する芸能の一つ、津軽の踊り。その中でも津軽小原節は、テクニックに裏打ちされた繊細でダイナミックな振り付けで、激しく切れよく華やかに踊ります。

若駒は、本場津軽の師匠に、踊り、唄、三味線をご指導いただき、お許しを得て上演しています。

演目

手踊り「津軽小原節」  
津軽三味線&カホン  
寿獅子  
春夏響彩

時間 45分

## 津軽三味線&カホン

カホンはスペインのフラメンコや南米の音楽で使用される打楽器です。

見た目の箱のようにも見えますが、その音色は打ち方によって変化する魅力的な楽器です。津軽三味線とのアドリブセッションでも、その音色とリズムは忌憚なく発揮され、津軽三味線の間と上手くかみ合って、新しい音楽を創り出しています。

## 寿獅子

日本の獅子舞は、約1400年前に中国から伝わった無病息災を願う芸能だといわれています。

今では全国に様々な獅子舞があります。

その中からいくつかの獅子舞をご指導いただき、明るくコミカルな若駒オリジナルの「寿獅子」が誕生しました。

梯子のぼりの芸や「おかめひょっとこ」の登場に子ども達の笑い声が響きます。

## 春夏響彩

春から夏へ季節が移りゆくさまを、和楽器とジャズドラム創作ダンスで魅せます。

春一番を想わせるドラムソロから始まり、やがて琴、三味線、篠笛、小鼓の合奏で穏やかな春のおとずれを告げます。

和太鼓の小気味よい響きが夏の到来を思わせたかと思うとダンサーの登場で、夏祭りが始まります。

さらに、ジャズドラム、和太鼓、創作ダンスが一体となってフィナーレを迎えます。

### 【作品に寄せて】

何年ぶりになるのでしょうか。芸能の新作が生まれました。

たっぷりと時間をかけて創り上げたのが、Mixture—芸能の真髄そして進化へ—です。

この作品を創作する中で、改めて混ざり合う事、融合し合うことの楽しさ、難しさを感じさせられました。

若駒の織り成す邦楽の世界と、高野氏の繰り出すジャズのニュアンスが、時には激しくぶつかり合い

次第にシンクロして混ざり合い、融合してゆく様は、私たち自身が初めて実感した、とても不思議な心地よい体験でした。

この作品が、ご覧いただく皆さんの目に、心に、どのように響くのかとても楽しみです。

確かな手応えと、チャレンジし続ける姿勢が、私たちの確信となっています。

### 民族芸能アンサンブル若駒プロフィール

民族芸能アンサンブル若駒は、1969年大阪市城東区で結成しました。以来、日本舞踊、三味線、狂言、鼓、琵琶など、日本の伝統芸能を学び数々の作品を作り出してきました。1971年、全国児童・青少年演劇協議会に、1997年に日本児童・青少年演劇劇団協同組合に加盟。

近年では、狂言を題材とした新しい舞台劇「ずっけ狂言ばなし」が好評を博し、全国のおよこ劇場、こども劇場で上演。

また、文化庁、文化芸術による子供育成推進事業での巡回公演も行い、年間約120ステージの公演活動と和太鼓、民舞の教室活動を行っています。

民族芸能アンサンブル若駒

お問い合わせは、下記の電話 FAX Emailにてお願い致します。

TEL:06-6926-1244 FAX:06-6926-1245 Email:geinou@wakakoma.co.jp

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-4-9